

英語コミュニケーション学科授業科目一覧

<基本教育科目：教養演習科目・表現伝達科目>

区分	授業科目	履修年次				単位数		卒業要件
		1	2	3	4	必修	選択	
基本教育科目	教養演習科目	◎◎				1		教養演習科目は必修科目2単位を修得しなければならない。
	基礎英語1 A	◎				1		
	基礎英語1 B	◎				1		
	基礎英語2 A	◎				1		
	基礎英語2 B	◎				1		
	基礎英語3 A	◎				1		
	基礎英語3 B	◎				1		
	基礎英語4 A	◎				1		
	基礎英語4 B	◎				1		
	応用英語1 A		◎			1		
	応用英語1 B		◎			1		
	応用英語I - 1 A (注1)		◎			1		
	応用英語I - 1 B (注1)		◎			1		
	応用英語I - 3 A (注1)		◎			1		
	応用英語I - 3 B (注1)		◎			1		
	応用英語II - 1 A		◎			1		
表現伝達科目	英語表現科目	◎	◎	◎	◎	1		表現伝達科目は、必修科目13単位及び英語表現科目の「応用英語I - 1 AB」「応用英語I - 3 AB」「応用英語II」より2科目2単位を含め、合計20単位以上を修得しなければならない。
	基礎英語I - 1 B		◎			1		
	基礎英語I - 2 A		◎			1		
	基礎英語I - 2 B		◎			1		
	基礎英語I - 3 A		◎			1		
	基礎英語I - 3 B		◎			1		
	ALPS（英語特別選抜クラス）I - 1 A		◎			1		
	ALPS（英語特別選抜クラス）I - 1 B		◎			1		
	ALPS（英語特別選抜クラス）I - 2 A		◎			1		
	ALPS（英語特別選抜クラス）I - 2 B		◎			1		
	ALPS（英語特別選抜クラス）II - 1 A		◎			1		
	ALPS（英語特別選抜クラス）II - 1 B		◎			1		
初習外国語科目	フランス語A	○				1		
	フランス語B	○				1		
	中国語A	○				1		
	中国語B	○				1		
	ハングルA	○				1		
	ハングルB	○				1		
	スペイン語A	○				1		
	スペイン語B	○				1		
	日本語A (注2)	○				1		
	日本語B (注2)	○				1		
	フランス語会話		○			1		
日本語表現科目	中国語会話		○			1		
	ハングル会話		○			1		
情報処理科目	スペイン語会話		○			1		
	日本語表現法		◎			1		
	日本語表現技法		○			1		
	情報処理基礎A	◎				1		
	情報処理基礎B	◎				1		
	情報処理応用A	○				1		
	情報処理応用B	○				1		
	情報処理法1（統計分析）		○			1		

注1)「応用英語I - 1 A」「応用英語I - 1 B」「応用英語I - 3 A」「応用英語I - 3 B」は、教職課程の履修登録を行っている学生のみ履修することができる。

注2)「日本語A」「日本語B」の履修対象者は、留学生・帰国学生に限る。

<基本教育科目：教養基礎科目・キャリア教育科目>

区分		授業科目	履修年次				単位数		卒業要件
			1	2	3	4	必修	選択	
基 本 教 育 科 目	人間理解	哲学	○					2	教養基礎科目は、区分に関らず、20単位以上を修得しなければならない。
		心理学	○					2	
		宗教学	○					2	
	文化・芸術理解	保健学	○					2	
		スポーツ1	○					1	
		スポーツ2	○					1	
	社会理解	スポーツ3 (注3)		○				2	
		文学	○					2	
		音楽学	○					2	
		舞台芸術	○					2	
		映像文化 (注4)	○	○				2	
教 育 科 目	世界理解	世界の美術			○			2	キャリア教育科目は、必修科目2科目4単位を含め、合計4単位以上を修得しなければならない。なお、選択科目より修得した単位は、教養基礎科目の単位とみなすことができる。
		博物館学				○		2	
		法学	○					2	
		政治と経済	○					2	
		社会学	○					2	
	現代の探求	社会思想	○					2	
		近現代日本史	○					2	
		情報学	○					2	
		日本国憲法（基本的人権）		○				2	
		文化人類学	○					2	
キャリア教育科目	世界理解	近現代世界史	○					2	キャリア教育科目は、必修科目2科目4単位を含め、合計4単位以上を修得しなければならない。なお、選択科目より修得した単位は、教養基礎科目の単位とみなすことができる。
		世界の文化と地域社会	○					2	
		海外文化演習1 (注5)	○					2	
		海外文化演習2 (注5)	○					2	
		海外文化演習3 (注5)	○					2	
	現代の探求	海外文化演習4 (注5)	○					2	
		海外文化演習5 (注5)	○					2	
		国際体験演習1 (注5)	○					2	
		国際体験演習2 (注5)	○					2	
		国際体験演習3 (注5)	○					2	
	キャリア教育科目	地理学		○				2	
		国際関係学		○				2	
		安全保障論			○			2	
		日本社会の抱える諸問題	○					2	
		国際社会の抱える諸問題	○					2	

注3)「スポーツ3」は、半期の授業と集中授業からなる。

注4)「映像文化」は、2時間連続で講義を行う。

注5) 夏期・春期の集中科目。本学指定のプログラムに限る。

注6)「スタートアップ・インターンシップ」は、複数回の授業と実習等からなる。

注7)「セルフディベロップメント認定I」「セルフディベロップメント認定II」は、単位認定科目。

注8)「インターンシップ演習I」「インターンシップ演習II」は、夏期・春期の集中科目。本学指定の派遣先に限る。

<専門教育科目：専門基礎科目・専門基幹科目>

区分	授業科目	履修年次				単位数 必修 選択	卒業要件
		1	2	3	4		
専門基礎科目	グローバル・コミュニケーション入門	◎				2	専門教育科目は、以下の要件を満たして合計78単位以上を修得しなければならない。 なお、基本教育科目の各科目区分の要件を満たしたうえ、46単位を超えて修得した単位については、8単位を上限として専門教育科目の単位みなすことができる。
	ことばとコミュニケーション *	○				2	
	国際社会とコミュニケーション *	○				2	
	英語コミュニケーションの背景1 *	○				2	
	英語コミュニケーションの背景2 *	○				2	
	児童英語教育入門	○				2	
	言語学入門	○				2	
	英語発音法入門	○				2	
	言語社会学入門	○				2	
	Pre-Progressive English Understanding the World	○				2	
専門教育科目	教職概論	○				2	①専門基礎科目は、必修科目1科目2単位に加えて、「*」印が付された科目から4単位以上、合計6単位以上を修得しなければならない。 ②専門基幹科目は、必修科目2科目4単位に加えて、「**」印が付された科目から12単位以上、合計16単位以上を修得しなければならない。 ③専門ゼミ科目は、5科目16単位を修得しなければならない。 ④グローバル・コミュニケーション学科、人間科学部、現代経営学部の専門教育科目を履修した場合、合わせて24単位までを英語コミュニケーション学科の専門教育科目の単位みなすことができる。
	教育史	○				2	
	Progressive English 1	○	◎			2	
	Progressive English 2	○	◎			2	
	English for Academic Purposes 1	○	◎			2	
	English for Academic Purposes 2	○	◎			2	
	総合研究英語1 **	○	○			2	
	総合研究英語2 **	○	○			2	
	英語音声学	○	○			2	
	児童英語教育指導法1	○	○			2	
	児童英語教育指導法2	○	○			2	
	イギリス文化と文学入門 **	○	○			2	
	アメリカ文化と文学入門 **	○	○			2	
	世界のことば	○	○			2	
	通訳・翻訳の技法	○	○			2	
	通訳・翻訳の理論	○	○			2	
	言語学	○	○			2	
	英文法 (Modern English Grammar)	○	○			2	
	比較文化論	○	○			2	
専門基幹科目	多文化社会論	○	○			2	
	国際環境論	○	○			2	
	資源と環境	○	○			2	
	マスメディア論	○	○			2	
	都市社会論	○	○			2	
	観光学	○	○			2	
	アメリカの社会と文化	○	○			2	
	アジアの社会と文化	○	○			2	
	ヨーロッパの社会と文化	○	○			2	
	Issues in Globalization	○	○			2	
専門基幹科目	教育原理	○	○			2	④グローバル・コミュニケーション学科、人間科学部、現代経営学部の専門教育科目を履修した場合、合わせて24単位までを英語コミュニケーション学科の専門教育科目の単位みなすことができる。
	教育課程論	○	○			2	
	英語科教育法 I - 1	○	○			2	
	英語科教育法 I - 2	○	○			2	
	教育制度比較論	○	○			2	
	英語教育概論	○	○			2	
	Progressive English 3	○	○			2	
	Progressive English 4	○	○			2	
	English for Academic Purposes 3	○	○			2	
	English for Academic Purposes 4	○	○			2	
専門基幹科目	英語文化論1 **	○	○			2	④グローバル・コミュニケーション学科、人間科学部、現代経営学部の専門教育科目を履修した場合、合わせて24単位までを英語コミュニケーション学科の専門教育科目の単位みなすことができる。
	英語文化論2 **	○	○			2	
	アメリカ文学 **	○	○			2	
	イギリス文学 **	○	○			2	
	英語のしくみ1 **	○	○			2	
	英語のしくみ2 **	○	○			2	
	教育言語学1 **	○	○			2	
	教育言語学2 **	○	○			2	
	英米児童文化1	○	○			2	
	英米児童文化2	○	○			2	
専門基幹科目	日英語のレトリック	○	○			2	④グローバル・コミュニケーション学科、人間科学部、現代経営学部の専門教育科目を履修した場合、合わせて24単位までを英語コミュニケーション学科の専門教育科目の単位みなすことができる。
	異文化交流論	○	○			2	
	アメリカ地域研究	○	○			2	
	アジア地域研究	○	○			2	
	ヨーロッパ地域研究	○	○			2	
	情報と社会	○	○			2	
	都市觀光論	○	○			2	
	Topics in Globalization 1	○	○			2	
	Topics in Globalization 2	○	○			2	
	対照言語学	○	○			2	
専門基幹科目	第二言語習得理論	○	○			2	④グローバル・コミュニケーション学科、人間科学部、現代経営学部の専門教育科目を履修した場合、合わせて24単位までを英語コミュニケーション学科の専門教育科目の単位みなすことができる。
	英語科教育法 II - 1	○	○			2	
	英語科教育法 II - 2	○	○			2	
	教育方法論 I	○	○			2	
	教育方法論 II	○	○			2	
	英語教育研究	○	○			2	
専門基幹科目	英語授業研究	○	○			2	④グローバル・コミュニケーション学科、人間科学部、現代経営学部の専門教育科目を履修した場合、合わせて24単位までを英語コミュニケーション学科の専門教育科目の単位みなすことができる。
		○	○			2	

<専門教育科目：専門展開科目・専門ゼミ科目・専門特別講義科目>

区分	授業科目	履修年次				単位数		卒業要件
		1	2	3	4	必修	選択	
専門教育科目	移民と多文化	<input type="radio"/>						2
	比較宗教論	<input type="radio"/>						2
	ビッグデータと現代社会	<input type="radio"/>						2
	世界の地誌と観光	<input type="radio"/>						2
	日本の伝統文化	<input type="radio"/>						2
	グローバル PBL1 注9)	<input type="radio"/>						2
	日本語教育法入門	<input type="radio"/>						2
	日本文学	<input type="radio"/>						2
	道徳教育指導法	<input type="radio"/>						2
	特別活動指導法	<input type="radio"/>						2
	生徒指導・進路指導	<input type="radio"/>						2
	世界のリーダー		<input type="radio"/>					2
	国際日本研究		<input type="radio"/>					2
	メディア文化論		<input type="radio"/>					2
	報道とメディアの世界		<input type="radio"/>					2
	企業活動と環境		<input type="radio"/>					2
	国際観光政策		<input type="radio"/>					2
	ホスピタリティ・ツーリズム		<input type="radio"/>					2
	スポーツと国際社会		<input type="radio"/>					2
	国際協力キャリアの世界		<input type="radio"/>					2
	航空ビジネスの英語		<input type="radio"/>					2
	観光ビジネスの英語		<input type="radio"/>					2
	グローバル PBL2 注9)		<input type="radio"/>					2
	エコツーリズム論		<input type="radio"/>					2
	ポップカルチャー		<input type="radio"/>					2
	日本語研究1(文法)		<input type="radio"/>					2
	日本語研究2(音声)		<input type="radio"/>					2
	日本語研究3(語彙)		<input type="radio"/>					2
	日本語研究4(歴史)		<input type="radio"/>					2
	日本語教育実習		<input type="radio"/>					1
	教育心理学		<input type="radio"/>					2
	教育相談の基礎		<input type="radio"/>					2
	スクールカウンセリング		<input type="radio"/>					2
	学校インターンシップ 注10)		<input type="radio"/>					2
	日本語教育法1			<input type="radio"/>				2
	日本語教育法2			<input type="radio"/>				2
	事前・事後指導 注10)			<input type="radio"/>				1
	中学校教育実習 注10)			<input type="radio"/>				4
	高等学校教育実習 注10)			<input type="radio"/>				2
	教職実践演習(中高) 注10)			<input type="radio"/>				2
専門ゼミ科目	専門基礎演習A		<input type="radio"/>				2	
	専門基礎演習B		<input type="radio"/>				2	
	専門応用演習			<input type="radio"/>			4	
	卒業研究演習			<input type="radio"/>			4	
	卒業論文・卒業制作			<input type="radio"/>			4	

注9)「グローバルPBL1」「グローバルPBL2」は、夏期・春期の集中科目。

注10)「学校インターンシップ」「事前・事後指導」「中学校教育実習」「高等学校教育実習」「教職実践演習(中高)」は、教職課程の履修登録を行っている学生のみ履修することができる。

※履修年次の◎は、卒業に必要な必修科目であることを示す。

※卒業に必要な単位数は124単位以上であり、GPA(Grade Point Average)が2.0以上なければならない。